平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月30日

上場会社名　株式会社 ステップ　　上場取引所　東
コード番号　9795　URL　http://www.stepnet.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 龍井　郷二
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員　(氏名) 新井　規彰　TEL 0466-20-8000

四半期報告書提出予定日　平成24年2月3日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	2,011	5.3	567	8.3	575	10.2	302	18.4
23年9月期第1四半期	1,909	3.7	523	17.4	522	14.5	255	1.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	20.50	―
23年9月期第1四半期	17.22	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第1四半期	14,899	10,584	71.0	718.14
23年9月期	14,421	10,429	72.3	707.67

(参考) 自己資本　24年9月期第1四半期　10,584百万円　23年9月期　10,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	―	9.00	―	10.00	19.00
24年9月期	―				
24年9月期(予想)		10.00	―	11.00	21.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,875	3.5	881	2.9	885	4.2	510	17.8	34.60
通期	7,968	3.9	1,828	3.6	1,836	4.9	1,053	9.8	71.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	15,320,000 株	23年9月期	15,320,000 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	581,633 株	23年9月期	581,633 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	14,738,367 株	23年9月期1Q	14,821,118 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 ……2
(1) 経営成績に関する定性的情報 ……2
(2) 財政状態に関する定性的情報 ……2
(3) 業績予想に関する定性的情報 ……3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 ……3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
(3) 追加情報 ……3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……3
4. 四半期財務諸表 ……4
(1) 四半期貸借対照表 ……4
(2) 四半期損益計算書 ……6
【第１四半期累計期間】 ……6
(3) 継続企業の前提に関する注記 ……7
(4) セグメント情報等 ……7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……7
5. 補足情報 ……7
(1) 生産実績及び受注実績 ……7
(2) 販売実績 ……7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間は、学習塾としては学年度の２学期後半と冬期講習に当たります。この間の当社の生徒数は、塾生総数の期中平均で前年同四半期比2.2%増となりました。前事業年度後半の生徒人数の動向に関して、東日本大震災から受けた影響は学年によって異なりましたが、小中学生部門、現役高校生部門とも、全体として前事業年度末の水準を引き継いでほぼ予想範囲内での推移となっています。

当事業年度中の当社の生徒人数は順調に推移していますが、アンテナを鋭敏に張って状況変化に迅速に対応する努力が必要とされています。例えば、来年の春から導入される県立高校入試新制度(現中２生の受験)は、脱ゆとり教育の流れの中で、従来は前期、後期に分かれていた入試が一体化され、受験生全員が学力検査と面接を受けることになるという大きな変化を迎えます。その影響がどの様な形で現れてくるのか、現状では明確には予想しがたい状況です。したがって、今後も状況変化に機敏に対応しながら、業務内容の充実に努めてまいります。また、中長期的視点から、マーケットの深耕に力を尽くします。

当社が注力している現役高校生部門は、少子化と大学定員の拡大を主たる原因として大学入試における競争が緩和するなど大きな環境変化が進行中ですが、小中学生部門同様に、授業内容の充実と現役高校生のニーズに対応した柔軟なシステムづくりに力を入れてまいります。

なお、当事業年度中の新規開校は、当社のドミナントエリアおよびその近隣地域を中心に小中学生部門で４スクール、現役高校生部門で１校を予定しています。

当第１四半期累計期間の売上高は2,011百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は567百万円（前年同四半期比8.3%増）、経常利益は575百万円（前年同四半期比10.2%増）、四半期純利益は302百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末比478百万円増の14,899百万円となりました。

流動資産は、長期借入れによる現預金の増加等により、前事業年度末比567百万円増の1,800百万円となりました。

固定資産は、減価償却実施による減少等により前事業年度末比89百万円減の13,098百万円となりました。

（負債）

当第１四半期会計期間末における負債は、前事業年度末比323百万円増の4,314百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等の減少等はありましたが、賞与引当金の増加等により前事業年度末比297百万円増の2,145百万円となりました。

固定負債は、長期借入れの実施等により前事業年度末比25百万円増の2,168百万円となりました。

（純資産）

当第１四半期会計期間末における純資産は、四半期純利益の増加がありましたが、配当の支払があったため、前事業年度末比154百万円増の10,584百万円となりました。

また、長期借入れを実施したこと等により、自己資本比率は前事業年度末に比べ、1.3ポイントダウンの71.0％となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年９月期の業績につきましては、平成23年11月４日付け「平成23年９月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載の予想と変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

当第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しています。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年９月30日）	当第１四半期会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	927,733	1,397,056
売掛金	43,910	64,110
有価証券	34,642	35,152
たな卸資産	19,573	26,290
その他	208,322	279,696
貸倒引当金	△1,453	△2,122
流動資産合計	1,232,729	1,800,184
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,454,777	5,370,303
土地	6,969,530	6,969,530
その他（純額）	165,271	156,282
有形固定資産合計	12,589,578	12,496,116
無形固定資産	27,082	27,495
投資その他の資産		
敷金及び保証金	396,977	406,378
その他	174,714	169,004
投資その他の資産合計	571,691	575,383
固定資産合計	13,188,353	13,098,995
資産合計	14,421,082	14,899,179
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,006,851	1,026,428
リース債務	9,487	9,576
未払金	88,750	104,503
未払法人税等	402,648	297,973
賞与引当金	54,668	197,730
その他	285,680	509,755
流動負債合計	1,848,086	2,145,966
固定負債		
長期借入金	1,758,272	1,783,518
リース債務	21,609	19,590
役員退職慰労引当金	224,890	220,730
資産除去債務	126,231	133,273
その他	12,113	11,863
固定負債合計	2,143,116	2,168,975
負債合計	3,991,203	4,314,942

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年９月30日）	当第１四半期会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,329,050	1,329,050
資本剰余金	1,402,050	1,402,050
利益剰余金	7,877,975	8,032,741
自己株式	△165,591	△165,591
株主資本合計	10,443,484	10,598,250
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,604	△14,013
評価・換算差額等合計	△13,604	△14,013
純資産合計	10,429,879	10,584,237
負債純資産合計	14,421,082	14,899,179

（２）四半期損益計算書

【第１四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	1,909,949	2,011,617
売上原価	1,252,438	1,320,776
売上総利益	657,510	690,841
販売費及び一般管理費	133,905	123,526
営業利益	523,605	567,314
営業外収益		
受取利息	73	48
受取家賃	16,772	23,082
その他	3,607	9,103
営業外収益合計	20,453	32,234
営業外費用		
支払利息	9,056	8,067
賃貸費用	12,745	11,971
その他	256	4,154
営業外費用合計	22,058	24,194
経常利益	522,000	575,355
特別損失		
固定資産除却損	2,832	1,595
減損損失	292	31,349
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82,178	－
特別損失合計	85,303	32,944
税引前四半期純利益	436,696	542,410
法人税、住民税及び事業税	267,147	289,605
法人税等調整額	△85,680	△49,345
法人税等合計	181,466	240,260
四半期純利益	255,229	302,150

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

当社は、学習塾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5．補足情報

生産、受注及び販売の状況

（1）生産実績及び受注実績

当社は、生徒に対して授業を行うことを業務としていますので、生産及び受注実績は、該当事項はありません。

（2）販売実績

当社は学習塾事業の単一セグメントであるため、開示対象となるセグメントはありませんが、当第1四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりです。

事業部門別	当第1四半期累計期間 （自　平成23年10月1日 至　平成23年12月31日） （千円）	前年同四半期比 （%）
小中学生部門	1,675,599	104.5
現役高校生部門	336,018	109.5
合　計	2,011,617	105.3